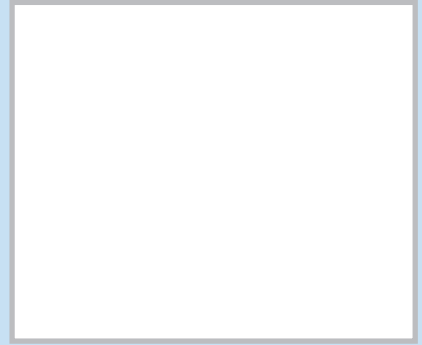


乳児湿疹 (infantile eczema)

MEMO 



7

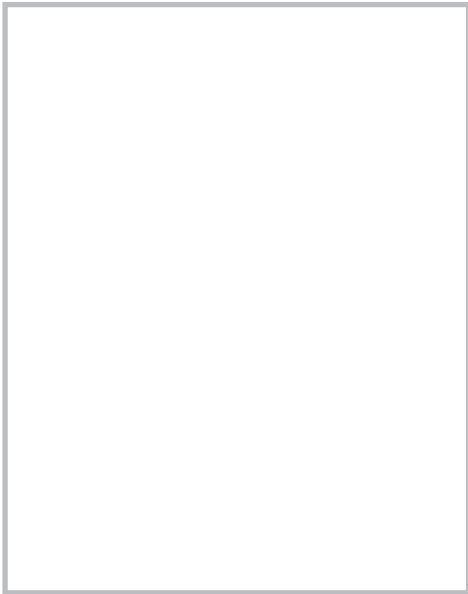


図 7.13 慢性単純性苔癬 (lichen simplex chronicus) Vidal 苔癬ともいい、衣服による摩擦などにより生じやすい。慢性湿疹の一型。



図 7.14① 自家感作性皮膚炎 (autosensitization dermatitis) ほぼ全身に汎発性の湿疹を伴い、id 疹も多発混在する。

#### 4. 慢性単純性苔癬 たいせん lichen simplex chronicus

同義語：Vidal 苔癬 ヴァイダール (lichen Vidal)

慢性湿疹の一型であり、中年女性の項部や腋窩などに類円形の苔癬化局面を形成したもので、掻痒が著しい。色素沈着ないし色素脱失を伴うことが多く、強い苔癬化から疣状の外観を呈することもある (図 7.13)。衣服による摩擦や金属アレルギーなど、繰り返し加えられる弱い刺激とそれに対する搔破行為を長年続けることによって生じる慢性湿疹病変であり、治療はステロイド外用、掻痒に対して抗ヒスタミン薬の内服を行う。

#### 5. 自家感作性皮膚炎 autosensitization dermatitis \*

##### Essence

- ある部位に限局していた病変の急な増悪によって、掻痒を伴う小丘疹や紅斑が全身に多発。
- 内在性のアレルギー反応 (id 反応) による。

##### 症状

原発巣は下腿が圧倒的に多い (50 ~ 60%)。発赤や腫脹、滲出などの急性増悪が起り、2 週間ないし数週間で散布疹 (id 疹) を生じる。散布疹は 2 ~ 5 mm 程度の紅斑や丘疹、漿液性丘疹、膿疱であり、四肢や体幹、顔面に対称性かつ播種性に分布し、激しい掻痒を伴うことが多い (図 7.14)。発熱、倦怠感などの全身症状が出現することもある。

##### 病因

一種の内在性アレルギー反応 [id 反応 (id reaction)]。原発